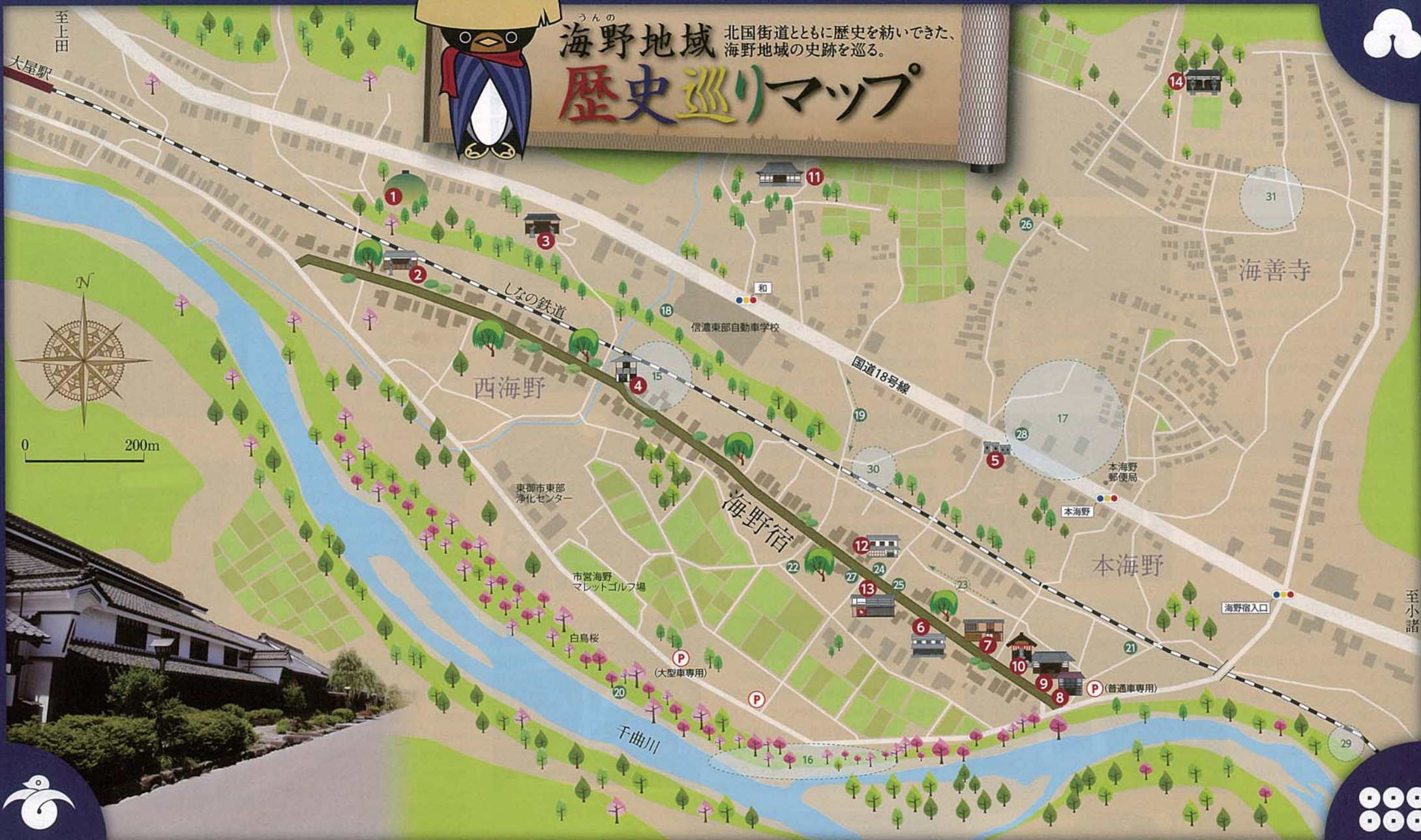




うんの  
海野地域 北国街道とともに歴史を紡いできた、  
海野地域の史跡を巡る。  
**歴史巡りマップ**



**海野地域の史跡**

- |                               |   |   |                                     |                                    |                                   |                      |
|-------------------------------|---|---|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------|
| 1 中曽根親王塚古墳                    | 4 心光寺                                   | 7 海野宿歴史民俗資料館                              | 12 うんのわ (海野宿滞在型交流施設)                | 17 海野氏居館跡 ※推定地                     | 22 稻荷神社 いなりじんじや                   | 27 道祖神 (双体)          |
| 2 住吉神社                        | 5 柳原神官の石祠 <small>やなぎはら じんかんのせきし</small> | 8 新海神社                                    | 13 なつかしの玩具展示館                       | 18 兜塚 <small>かぶとづか</small>         | 23 東山道 <small>とうざんどう</small> ※推定地 | 28 新海神社跡             |
| 3 足穂神社 <small>たるほじんじや</small> | 6 矢島行康記念館                               | 9 白鳥神社                                    | 14 八幡社 (滋野神社) <small>はちまんじや</small> | 19 旧松代道                            | 24 馬つなぎ石                          | 29 海野古城 (小太郎屋敷) ※推定地 |
|                               |   | 10 媒地藏尊 <small>なかつぢしぞうせん</small>          | 15 願行寺跡 ※推定地                        | 20 千曲川渡跡                           | 25 しおなめ石                          | 30 観音堂 (日輪寺跡) ※推定地   |
|                               |   | 11 興善寺 (海野小太郎墓碑) <small>(龜瀧王の御座石)</small> | 16 白鳥河原 (木曾義仲 率兵の地)                 | 21 万貫石公園 <small>まんがんせきこうえん</small> | 26 赤岩不動尊 (不動公園)                   | 31 海善寺跡 ※推定地         |



## ① 中曽根親王塚古墳

5世紀前半に築造されたとみられ、墳丘の基底部一辺が52m前後、墳頂部各辺が約12m、高さ約11m。東日本では珍しい方墳で県下では最大、国内でも9番目の大きさです。墳丘の北側には周溝が確認され、一帯から埴輪が出土しています。東信州の古代史を塗り替えるかもしれない重要史跡です。※長野県史跡



## ② 住吉神社

江戸期、西海野の西側が下深井村であった時代、大坂の住吉大社から分祀し下深井神社として祀られました。西海野は真田信之の政策による物流基点とされたことから船の守護神である住吉神を祀ったと考えられます。明治になり住吉社として西深井集落にも分祀されています。



## ③ 足穂神社

江戸期、西海野の東側が下吉田村であった時代の村社で戸隠講の飯縄権現が祀られています。西海野から国道18号線を渡り曾根、深井へと繋がる道を地元では「足穂道」と呼んでいます。周辺は神仏習合の名残り旧心光寺跡で、珍しい六角の石幢・六地藏も残っています。



## ④ 心光寺

周辺は真田昌幸により上田の横町へ、真田信之により松代へと移築された海野氏ゆかりの寺院「願行寺跡」と推定されています。江戸時代には足穂神社の神宮寺とされ飯縄信仰にもとづく神仏習合の風習が今も伝わり、厨子入りの大日仏が護られています。



## ⑤ 柳原神官の石祠

白鳥神社境内に移築された新海社宮司家の祠です。新海社は武田信玄の二男、信親こと海野龍室にゆかりのある神社とも伝わります。周辺は中世の豪族、海野氏の居館跡と推定され、海野氏・真田氏との関わりから六文銭紋が標されています。



## ⑥ 矢島行康記念館

矢島行康は明治期の養蚕業振興に尽力した時代の先覚者です。平田篤胤の養子・鉄胤の門下で国学を修め岩倉具視とも親交があつく、富国産業政策による養蚕業を積極的に取り入れました。とくに蚕種製造に力を注ぎ、地域発展の礎を築きました。記念館は櫓材を使用した堅牢な建物で海野宿での蚕業の隆盛を今に伝えます。



## ⑦ 海野宿歴史民俗資料館

江戸時代(1790年頃)に建てられた旅籠屋造りの建物で、昭和59年、市に寄贈され一般公開されることとなりました。奈良時代の海野郷の起りから、中世・海野氏の解説、江戸時代の北国街道 海野宿、明治になっての養蚕・蚕種業の資料が展示・公開されています。



## ⑧ 新海神社

諏訪信仰とゆかりの深い新海社で海野氏居館近くに祀られていたものを明治期に移築したものです。海野氏の名跡を継いだ武田信玄の二男、海野龍室との関わりで佐久から分祀したとの説もあります。戦国時代には龍室の弟、武田(諏訪)勝頼に篤く崇敬された神社です。東御市有形文化財



## ⑨ 白鳥神社

海野宿の産土神。日本武尊の伝説を縁起とし、海野氏・真田氏の氏神として祀られた神社。真田家の守護神として崇敬され、寛永元年(1624)、真田信之(幸村の兄)により松代へも分祀されています。境内のケヤキの大木は樹齢700年を越えるといわれています。社壇は東御市天然記念物・本殿は東御市有形文化財



## ⑩ 媒地蔵尊

通称「縁結び地蔵」  
加賀藩の前田侯が参勤交代の道中にお参りしたところ、良縁に恵まれなかった御姫様が、無事結婚できたという縁結びの霊験が伝わります。出会いの仲をとりもつ「なかだち」のお地藏さんとして慕われています。



## ⑪ 興善寺

(海野小太郎墓碑) (善淵王の御座石)

興善寺は海野氏の菩提寺。開基、海野幸棟(1524年没)を供養した「小太郎様の碑」が守られています。現在の墓碑は享保20年(1735)に海野宿の村人が再建したものです。墓碑手前の平石は「善淵王の御座石」と呼ばれ、海野氏、真田氏の始祖が御殿の庭石に座し、海野平を眺めていたと伝わります。境内の「廃海善寺石塔基礎」は東御市有形文化財。



## ⑫ うんのわ

(海野宿滞在型交流施設)

海野宿古民家の中庭を喫茶、蚕室をレストラン、主屋を宿泊施設に改装しました。伝統的家屋を公開活用することで、海野宿保存地区への理解と文化振興を図り、併せて地域活性化と観光振興に寄与することを目的とした滞在型交流施設です。「うんのわ」とはフランス語で「胡桃(くるみ)」を意味します。



## ⑬ なつかしの玩具展示館

北国街道の宿場町として栄えた海野宿の古民家が、なつかしい郷土玩具の展示館としてよみがえりました。江戸後期に建てられた宿場時代の建物に、全国から集められた千余点の民芸玩具が並びます。道をはさんだ向かいには、海野宿の本陣が建っていました。



## ⑭ 八幡社(滋野神社)

海野郷の鬼門除けに位置する八幡社で、明治になり滋野神社とされました。白鳥河原の拳兵で木曾義仲が戦勝を祈願、境内の木瓜(ボケ)の木は義仲の御手植えと伝わり、紅白花を咲かせる珍木で明治期は長野県の天然記念物でした。真田昌幸により上田城の鬼門除けとして海善寺とともに分祀されました。



●お問い合わせ

**東御市商工観光課** 〒389-0404  
長野県東御市大日向337  
TEL.0268-62-1111 FAX.0268-67-3337